

(ウ) 本研究における結論

以上の検討結果を踏まえ、職業費と同様に直近の5年間である平成25年～平成29年の家計調査年報第2-6表の平均値を用いて算出することとし、これを用いて総収入に占める特別経費の割合を推計すると、おおむね20%～14%（高額所得者の方が割合が小さい。）となる（資料2参照）。

（資料2）平成25～29年 特別経費実収入比の平均値
家計調査年報第2-6表 年間収入階級別1世帯当たり1か月間の収入と支出
（全国・二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

（単位：円）

特別経費 項目	平均	年間収入階級						
		200万円未満	250万円未満	300万円未満	350万円未満	400万円未満	450万円未満	500万円未満
実収入(注1)	525,962	148,113	231,167	255,873	289,452	308,539	350,865	374,178
住居関係費(注2)	56,666	22,247	26,630	35,586	34,812	37,455	45,284	46,562
保健医療	11,338	4,278	7,078	8,859	8,626	8,804	9,000	9,839
保険掛金	24,807	3,673	8,339	10,456	13,167	13,421	15,320	16,753
合計	92,810	30,198	42,047	54,900	56,606	59,681	69,605	73,154
特別経費実収入比	17.65%	20.39%	18.19%	21.46%	19.56%	19.34%	19.84%	19.55%

特別経費 項目	年間収入階級							
	550万円未満	600万円未満	650万円未満	700万円未満	750万円未満	800万円未満	900万円未満	1000万円未満
実収入(注1)	402,647	436,318	479,157	508,814	539,588	572,175	620,802	689,347
住居関係費(注2)	46,659	50,890	55,167	58,376	63,085	64,056	64,469	68,332
保健医療	9,888	10,481	10,638	10,752	11,227	11,704	12,566	13,722
保険掛金	19,055	20,979	21,570	24,475	25,426	26,429	31,494	35,889
合計	75,602	82,351	87,374	93,603	99,738	102,190	108,528	117,943
特別経費実収入比	18.78%	18.87%	18.23%	18.40%	18.48%	17.86%	17.48%	17.11%

特別経費 項目	年間収入階級		
	1250万円未満	1500万円未満	1500万円以上
実収入(注1)	794,133	953,392	1,162,658
住居関係費(注2)	78,065	78,903	91,554
保健医療	15,452	16,156	16,891
保険掛金	37,813	46,678	50,486
合計	131,330	141,737	158,931
特別経費実収入比	16.54%	14.87%	13.67%

（注1）実収入とは、一般に言われる税込み収入である。

（注2）住居関係費とは、「住居」の額に「土地家屋に関する借金返済」の額を加えたものである。

オ 本研究における基礎収入割合

以上、検討してきたとおりの総収入に占める公租公課の割合、職業費の割合及び特別経費の割合から基礎収入割合を算出すると、給